

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2・4・49	コロナ禍で外出や地域交流が出来ていない。室内で取り組めることに力を入れているが、警戒レベル引き下げに伴い外出、面会等緩和している。	コロナの警戒レベル次第ではあるが、運営推進会議や家族会などの開催を再開し、交流の機会を確保していきたい。また、家族への情報誌等で発信していく。	地域の方の参加のものと避難訓練実施や運営推進会議の開催を感染症を考慮して取り組んでいく。困難時は書類発送し意見を頂けるよう働きかけを継続する。外出においては近くのコンビニや公園へ散歩。本人、家族意向を伺いながら外出を検討していく。	12ヶ月
2	1	管理者と職員が共通した法人理念へは取り組んでいるがバニラハウス独自のスローガンを掲げ職員一人一人が意識をし支援に当たることが継続できていない。	バニラハウスのスローガンとして、今年度は「笑顔で過ごせるホーム」目標として掲げている。今一度、職員への周知、意識の徹底を図り支援に繋げていきたい。	毎月の職員会議で周知、それに基づく支援が行えているか検討していく。利用者のみならず、家族や職員に対しても意見をもらい、共に笑顔で過ごせるという意味を考えていく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。